



↑文化局発表：音楽部・吹奏楽部・箏曲部



9月15日(火) 白嶺祭体育部門

当日は陽射しが強く、残暑厳しい中での開催となりましたが、カラフルなクラスTシャツに身を包んだ生徒たちは、感染症対策を行いながら、玉入れや障害物競争、借り物競争やクラス・部活動対抗リレーなど、様々な競技に楽しいひと時を過ごしました。



体育委員会委員長
毛利 来夢（甲西中学校出身）

新型コロナウイルス

感染症の影響で学

園祭が中止になる高

校も多い中、消毒や

マスク、三密回避な

どの安全面に隅々ま

で配慮して、9月15日に白嶺祭体育部門を開催しました。二人三脚や障害物競争、玉入れなど、計7種目の競技を行いましたが、中でも特に盛り上がったのが借り物競争でした。校長先生、ボールペン、実行委員長など、様々なモノや人が借りられる中、全校生徒の歓声を浴びて借りられたお題は好きな人。少し恥ずかしそうにゴールへ走っていく姿がとても印象的でした。部活動対抗リレーでは、各部の精鋭たちが快足を飛ばす一方で、ドリブルをしながら、ボールを打ち上げながら、はたまたさき跳びをしながら走る部もあり、白熱した中にも楽しいひと時となりました。エンディングでは、文化部門と併せて結果発表が行われ、全てを出し切った沢山の笑顔に包まれました。高校生活最後の白嶺祭を最高の思い出として終えることができました。

フードドライブに参加しました！



3年 井上 紗貴子（白根御勅使中学校出身）

皆さんは、フードドライブとはどういうものか知っていますか？フードドライブとは、販売はできないが安全に食べられる食品を集めて、それを必要としている施設や団体に無償で提供する活動のことです。私は8月17日に、フードバンクこども支援プロジェクトに参加しました。主な作業は、家庭に配達される食品の箱詰めで、箱によって中身の食品が偏らないように、またなるべく箱の中身がいっぱいになるように考えながら、みんなで協力して多くの箱を作りました。作業が始まる前に見せもらったビデオでは、子どもたちが満足にご飯を食べることができず、家族のことを思って自分の食べる量を遠慮している姿を見ました。こうした状況を身近に感じることはなかなか難しいと思います。しかし、このボランティアに参加したこと、で、年間五百～八百万トンといわれる日本の食品ロスがどれだけ家庭に影響を与えていているのかを考えるきっかけになりました。



↓クラスパフォーマンス：全学年（ダンス・演劇等）

9月3日(木) 白嶺祭文化部門

今年のテーマは「完全燃笑」！本校体育館で第66回白嶺祭文化部門が行われました。発表学年は体育館で鑑賞し、他学年は教室で体育館の舞台発表をオンライン視聴するという形式を取り、発表者はマウスシールドを着用、そして手指、マイク、椅子などの消毒を念入りに行いながら、元気いっぱいのパフォーマンスをみせてくれました。



白嶺祭実行委員長
平澤 聖也（白根御勅使中学校出身）

今年の白嶺祭は、新型コロナウイルス感染症の影響により、本来予定していた6月から3か月遅れの9月開催となり、また規模も縮小される中での実施となりました。1・2年生は部活動、3年生は受験対策と並行して準備することになりましたが、限られた時間の中で友人たちと協力し、笑顔で準備する姿を見て、巨摩高生の素晴らしさを実感する同時に、実行委員長として、学園祭を無事に終了することができてほっとしています。特にクラスパフォーマンスにおいて、ダンスや劇を心の底から楽しそうに演じている姿が印象的で、大声で声援を送れないながらも、会場内は白嶺祭特有の熱気に包まれ、想像以上に盛り上がることができました。クラスTシャツやクラス旗も趣向が凝らされ、各クラスの個性がよく表れていたと思います。学園祭が中止となつた学校もある中で、本校では先生方や生徒会本部の協力もあり、無事に開催できたことに心から感謝しています。来年の白嶺祭も1・2年生、そして巨摩高校に入学予定の現中学3年生の皆さんを中心いて、素晴らしい学園祭になることを期待しています。先生方、生徒の皆さん、一生の思い出になる学園祭をありがとうございました。

3年生最後の呈茶会

9月19日(土)14時から進修館において、3年最後の呈茶会が催されました。これまで先生方に指導して頂いたお点前が披露され、会場は厳かな中にも温かな雰囲気で包まれ、部員の表情は充実感に満ちていました。

第56回定期演奏会

8月10日(月)に、吹奏楽部による第56回定期演奏会が、桃源文化会館で行われました。コロナ禍を乗り越え、3年生が企画した演奏会で、当日は保護者や家族などの観客の皆様に、精一杯の演奏を披露しました。